

第516回IBC番組審議会

1. 開催日時 平成19年1月24日(水)午前11時
2. 開催場所 デジタルセンター3F Dホール
3. 委員の出席
- | | |
|---------|--|
| 委員数 | 11名 |
| 出席委員数 | 8名 |
| 出席委員の氏名 | |
| 委員長 | 吉沢 正則 |
| 副委員長 | 田代 高章 |
| 委員 | 伊藤 史典 河村 泰信
熊谷志衣子 小松 務
澤口たまみ 宮澤 徳雄 |
| 欠席委員の氏名 | 高橋 健悦 米谷 春夫
矢佐 俊幸 |
- 会社側出席者
- | | |
|-------|----------|
| 阿部 正樹 | 代表取締役社長 |
| 川島 敬司 | 常務取締役 |
| 柴田 継家 | 報道局長 |
| 川上 隆 | ラジオセンター長 |
| 鎌田 英樹 | テレビ編成局長 |
- 事務局
- | | |
|-------|------------|
| 馬場由紀子 | 番組審議会事務局長 |
| 小笠原 勉 | 番組審議会事務局次長 |
4. 議題 『テレビ・ラジオの年末年始の番組』

5. 議事の概要

< 委員の主な発言 >

・「環境スペシャル・八幡平の自然紀行」「イヌワシの地平線」の再放送や、SBCスペシャル「無言館～レクイエムから明日へ」などの、ドキュメンタリー番組を評価する。良質な番組については、これからも再放送を考えて欲しい。

・「盛岡文士劇」は、文化都市である盛岡の良い伝統を受け継いでいる。特にアナウンサーが出演した方言劇が面白く、これからも盛岡ブランドとして大事に育てていって欲しい。

・「新春クイズいわてホットライン」は、お正月で地元の番組が少ない中で、家族で楽しめる番組として定着している。

・家族みんなが揃う大晦日のこの時間に、長時間に亘る格闘技の番組が相応しいか疑問を感じる。「古代エジプト大冒険 - ミイラ大発掘研究」や「どうぶつ奇想天外」のような良質な番組、ドキュメンタリー番組を増やして欲しい。

・年末年始は普段にも増してバラエティ番組が多くなる。地デジがこれから普及してくると思うので、自然を紹介した番組など高画質の画面を生かせるような良質な番組を検討して欲しい。

・番組の捏造問題では、マスコミの影響力や責任の大きさを感じました。意識の高さは、常に報道や番組制作には求められていくと思いましたが、しっかり念頭に置きながらいい番組を作っていただきたい。

< 社側 >

・番組は基本的に自社の制作部員で制作しますが、関連会社やプロダクションに制作を委託する場合があります。その場合には、番組の制作意図、趣旨をきちんと伝え、協議した上で制作してもらいます。出来上がったものに関しては責任を持ってプレビューし、間違いがないという判断で放送する体制になっています。

・放送界で残念だったのは、モラルの問題だけではなく捏造ということにマスコミ自体が手を染めてしまったことです。自省も含めてIBCには同じ様なことはないか。日々の仕事の中で県民を裏切るようなことはないか、職場で再点検することにしていきます。

・IBCとしては、できる限り自社編成枠の中では良質な番組を流したい。今回は系列局のドキュメンタリー番組を放送しました。特に「赤い日々」の記憶」は、不登校問題を取り上げた番組なだけに、お子さんを持っている家庭でもご覧いただける時間帯を考慮して編成しました。